

2025年度 第7回北海道レフェリーアカデミー 事業報告 (1級・強化指定研修会)

報告者:鈴木辰汰(オホーツク地区)

【日時】2025 年10月10日(金) 10月11日(土) 10月12日(日) 10月13日(月)

【1 日目】

事前研修(zoom)

- ・宿泊、研修全体に関すること 担当:伊藤真也氏
- ・大会レギュレーション 担当:木下英則氏
- ・割り当てに関して 担当:古曾部統太郎氏

【2 日目】

会場:中札内交流の杜サッカー場、

担当試合:①道大谷室蘭 vs 岩見沢緑陵 主審

〈自己分析〉

始めて高校選手権の主審を行うということでいい緊張感のもとで試合に入ることができた。ワンサイドになることが予測できたので、ポジショニングと動き出しの部分を意識的に行うという目標で行った。前半、ハイラインのチームに対していつものポジションについていて自分の立ち位置が窮屈に感じて動きの部分が適切でなく、遅れをとる場面が多々あった。HT で改めて整理し、戦術とポジションの関係を整理した。その結果後半には動きに幅と厚みが生まれ説得力のあるポジションを取り続けることができた。試合自体も滞りなく進めることができ、アカデミー一年間の成果を実感することができた。しかし、アシスタントのフラッグアップを試合を通じて複数回遅れて反応したため改善する必要がある。

〈INS 分析〉

- ・チーム戦術に自分をアジャストするために特に前半の10分、15分を勝負に
- ・球際の見極めは一年間の成果が出ている
- ・アシスタントのフラッグアップに気づけなかったのはなぜか。体の向きや予測などの様々な可能性を加味した動きとポジショニングを取る必要がある。

②苫小牧中央 vs 東海大札幌 第4の審判員

講義「マネジメントについて」 担当:西村雄一氏

〈感想〉

「マネジメント」について西村氏の経験を基にお話を頂いた。西村氏の判定のプロセスから「なぜマネジメントが必要か」「そもそもマネジメントとは何なのか」を確認した。特に、マネジメントはファウルをしたときにするだけではなく、何気ない会話や表情一つ一つが選手へのマネジメントとなり小さな積み重ねでより良いゲームができるようになるということを学んだ。どうしても自分は年齢で見られマネジメントに苦戦していたが、まずは、自分から小さなコミュニケーションを続けていき、マネジメントに繋げていこうと思った。

【3日目】

担当試合: クラーク記念国際 vs 北星学園大付属 副審

【4日目】

担当試合: 札幌大谷 vs 北照

〈全体を通して〉

今回、アカデミーと強化指定研修会が合同で行われ、いつもとは違うメンバーと高めあうことができ沢山の学びと刺激を受けることができました。今年一年間の集大成のような大会で、個人的にシーズンの中でベストと言えるパフォーマンスができたことは来シーズンに向けてプラスの要素であると感じました。一年間アカデミーで学んだことを生かすも殺すも自分次第なので常に学び続ける姿勢を忘れずにこれからもより良い審判員になれるように努力していきます。